送電線

かしこく・なかよく・元気よく

『子どもの笑顔があふれる学校』『地域の風が行き交う学校』

令和２年度　１月　１５日　１７号

2021年　今年もよろしくお願い致します！

新年、３学期がスタートしました。今年は丑年、そこから「何事にも動じない」「粘り強く確実」というイメージをもちました。そのイメージを実践して、コロナ禍でも明るく楽しい学校づくりができるよう頑張りますので、よろしくお願いします。

また今週は「１１都府県で緊急事態宣言」が発出され、また群馬県でも感染者が高止まりとなっている現状です。上陽小は３学期も継続して手の消毒、石けんによる手洗い、教室の換気等、感染予防に取り組んでいきます。ご家庭においても、感染防止のご協力を引き続きよろしくお願いします。

【お願い】

３学期も毎朝の検温とお子さんの健康状況の確認をお願いします。様子がおかしい場合は、早めの休養、または医師の診察等、対応をよろしくお願いします。また感染症の検査を行った場合や濃厚接触者になった場合は、学校まで連絡をお願いします。

手洗いと消毒の関係から、１２月あたりから手が荒れている児童が増えてきました。**寝る前や登校前にハンドクリームをしっかり付けるなどの対策**を家庭でしていただくとありがたいです。

まだまだ寒さが続きます。感染予防、手荒れ防止等、よろしくお願いします。

絵手紙を送った女川小から　お礼のお手紙が届きました！

２０２０年（令和２年）１２月２２日（火曜日）　（第三種郵便物認可）

群馬の小学校から絵手紙

女川小思う「心」届く

震災後 職員派遣 縁で交流

女川小3年生36人で、東日本大震災の復興支援「交流」が生まれた群馬県玉村町の上陽小3年生から絵手紙が届き、18日に児童に配られた。

絵手紙は、上陽小の3年生52人が玉村町の絵手紙サークル「一歩の会」の指導を受けて仕上げた。震災後に玉村町の職員が女川小を訪れ、「被災地の人々を元気づけたい」と話したことが縁となった。

上陽小からの絵手紙は、和葉さん(9)は「私たちを思ってくれる気持ちがうれしい。アマビエの絵もかわいいので、大事にしまって取っておきたい」と話した。

疫病から人々を守ると伝わる妖怪「アマビエ」のイラストと共に「コロナまけるな」と書かれた絵手紙を受け取った山川

まや来年のえとのうし、柿、ユズなどの絵にメッセージが添えられている。クリスマスが近いこともあり、玉村町のマスコットキャラクターのグッズなども一緒にプレゼントされた。

届いた絵手紙に笑顔を見せる女川小の3年生

『12/22の新聞「石巻かほく」に掲載』

これからも交流を続けていけるといいですね

3・4・5・6年生が「書き初め」

冬休み明け、体育館で書き初めを行いました。普段とは違う太い筆を使って書くので、なかなか思い通りに筆が進まないようですが、全員が集中して、とても丁寧に書いていました。

今年は２月の子ども芸術展が中止となったため、子供たちの力作が文化センターに作品が展示されないのは残念ですが、頑張りました。

カラー版は Web ページでご覧いただけます！